

日 本 国 特 許 庁

PATENT OFFICE
JAPANESE GOVERNMENT

JCS11 U.S. PTO
09/209454
12/11/98

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出 願 年 月 日
Date of Application:

1 9 9 7 年 1 2 月 1 2 日

出 願 番 号
Application Number:

平成 9 年特許願第 3 4 3 3 0 6 号

出 願 人
Applicant (s):

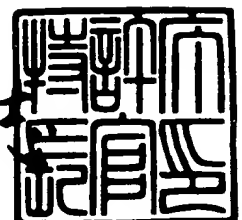
株式会社メニコン

CERTIFIED COPY OF
PRIORITY DOCUMENT

1 9 9 8 年 1 1 月 1 3 日

特 許 庁 長 官
Commissioner,
Patent Office

伴 佐 山 建 夫



出証番号 出証特平 10-3091342

【書類名】 特許願

【整理番号】 JP-10455

【提出日】 平成 9年12月12日

【あて先】 特許庁長官 荒井 寿光 殿

【国際特許分類】 H04L 12/00
G06F 13/00

【発明の名称】 コンタクトレンズの販売システム

【請求項の数】 20

【発明者】

【住所又は居所】 愛知県名古屋市中区葵三丁目21番19号 株式会社メニコン内

【氏名】 田中 英成

【発明者】

【住所又は居所】 愛知県名古屋市中区葵三丁目21番19号 株式会社メニコン内

【氏名】 村上 博志

【発明者】

【住所又は居所】 東京都千代田区三崎町1-3-12 株式会社メニコンメニコン東京内

【氏名】 林 辰彦

【発明者】

【住所又は居所】 愛知県名古屋市中区葵三丁目21番19号 株式会社メニコン内

【氏名】 山田 義治

【発明者】

【住所又は居所】 大阪府大阪市北区芝田1丁目1-4 株式会社メニコン大阪営業所内

【氏名】 高瀬 一寿

【発明者】

【住所又は居所】 愛知県名古屋市中区葵三丁目21番19号 株式会社メニコン内

【氏名】 中村 哲一

【発明者】

【住所又は居所】 愛知県名古屋市中区葵三丁目21番19号 株式会社メニコン内

【氏名】 石原 晶

【特許出願人】

【識別番号】 000138082

【氏名又は名称】 株式会社メニコン

【代理人】

【識別番号】 100065226

【弁理士】

【氏名又は名称】 朝日奈 宗太

【電話番号】 06-943-8922

【代理人】

【識別番号】 100098257

【弁理士】

【氏名又は名称】 佐木 啓二

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 001627

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9707841

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 コンタクトレンズの販売システム

【特許請求の範囲】

【請求項1】 通信網と、該通信網を介して接続される複数の情報処理装置とからなり、

前記複数の情報処理装置が、それぞれ演算処理手段、記憶手段および送受信手段を有し、

前記複数の情報処理装置が、少なくとも第1の情報処理装置と第2の情報処理装置と第3の情報処理装置とからなり、

前記第1の情報処理装置の送受信手段が、第1の情報処理装置から第2の情報処理装置に、少なくとも登録番号、指定眼科、コンタクトレンズ代金および代金支払い期限に関する情報を転送する手段であり、かつ、第1の情報処理装置から第3の情報処理装置に、少なくとも登録番号および氏名に関する情報を転送する手段であり、

前記第2の情報処理装置の送受信手段が、第2の情報処理装置から第1の情報処理装置に、少なくとも契約の申し込みに関する情報を転送する手段であり、

前記第3の情報処理装置の送受信手段が、第3の情報処理装置から第1の情報処理装置に、少なくとも登録番号、氏名、販売日、コンタクトレンズ情報および眼球診断情報を転送する手段であるコンタクトレンズの販売システム。

【請求項2】 前記情報処理装置が表示手段をさらに有する請求項1記載の販売システム。

【請求項3】 前記表示手段がブラウン管および液晶表示装置のうちの1つである請求項2記載の販売システム。

【請求項4】 前記情報処理装置が入力手段をさらに有する請求項1記載の販売システム。

【請求項5】 前記入力手段がキーボードである請求項4記載の販売システム。

【請求項6】 前記演算処理手段がCPUである請求項1記載の販売システム。

【請求項 7】 前記記憶手段が読みだし専用メモリおよびランダムアクセスメモリからなる請求項 1 記載の販売システム。

【請求項 8】 前記送受信手段が変復調装置である請求項 1 記載の販売システム。

【請求項 9】 通信網と、該通信網を介して接続される複数の情報処理装置と、携帯可能な記録媒体とからなり、

前記複数の情報処理装置が、それぞれ前記携帯可能な記録媒体にデータを書き込む手段、前記携帯可能な記録媒体からデータを読み出す手段、演算処理手段、記憶手段および送受信手段を有し、

前記複数の情報処理装置が、用途別に少なくとも第 1 のグループおよび第 2 のグループに分けられ、

前記第 1 のグループがコンタクトレンズ販売者にかかわる施設に設置された情報処理装置からなり、

前記第 2 のグループが指定眼科に設置された情報処理装置からなり、

前記第 2 のグループに含まれる情報処理装置が、第 2 のグループに含まれる情報処理装置が設置された眼科でのコンタクトレンズ使用者の診察結果に基づきえられた、少なくともコンタクトレンズ使用者の氏名、診察日、眼球診断情報、コンタクトレンズ情報およびコンタクトレンズの販売日に関するデータを記憶するとともに、第 1 のグループに含まれる情報処理装置に通信網を介して前記データを送信するものであり、

前記第 1 のグループに含まれる情報処理装置が、前記データを処理および管理し、データに基づき登録番号を決定し、前記携帯可能な記録媒体にデータおよび登録番号を記録し、前記診察日およびコンタクトレンズの販売日に基づきコンタクトレンズの交換時期を決定するとともに、前記コンタクトレンズの交換時期に、少なくともコンタクトレンズの交換時期に関する情報がコンタクトレンズ使用者に供給されるようにするものであるコンタクトレンズの販売システム。

【請求項 10】 前記第 2 のグループに含まれる情報処理装置のみが、眼球診断情報を修正する手段を有する請求項 9 記載の販売システム。

【請求項 1 1】 前記携帯可能な記録媒体が、特定のコンタクトレンズ使用者によって使用可能な記録媒体である請求項 9 記載の販売システム。

【請求項 1 2】 前記携帯可能な記録媒体それぞれが 1 つのパスワードを有する請求項 9 記載の販売システム。

【請求項 1 3】 前記複数の情報処理装置が、すべての携帯可能な記録媒体からデータを読みだすこと、および、すべての携帯可能な記録媒体にデータを書き込むことが可能な情報処理装置である請求項 9 記載の販売システム。

【請求項 1 4】 前記情報処理装置が表示手段をさらに有する請求項 9 記載の販売システム。

【請求項 1 5】 前記表示手段がブラウン管および液晶表示装置のうちの 1 つである請求項 1 4 記載の販売システム。

【請求項 1 6】 前記情報処理装置が入力手段をさらに有する請求項 9 記載の販売システム。

【請求項 1 7】 前記入力手段がキーボードである請求項 1 6 記載の販売システム。

【請求項 1 8】 前記演算処理手段が CPU である請求項 9 記載の販売システム。

【請求項 1 9】 前記記憶手段が読みだし専用メモリおよびランダムアクセスメモリからなる請求項 9 記載の販売システム。

【請求項 2 0】 前記送受信手段が変復調装置である請求項 9 記載の販売システム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、通信網を介して接続される複数の情報処理装置を用いてコンタクトレンズ（以下、「CL」という）を販売するためのシステムに関する。さらに詳しくは、CLの安全性を常時維持することができるCLの販売システムに関する。

【0002】

【従来の技術】

はじめに、従来のCLの販売方法の一例について説明する。

【0003】

CL使用者がCLを購入する際、まず、CLの選択が行なわれる。該CLにはさまざまな種類および規格があり、CL使用者ごとに選択する必要がある。なお、CLの種類は、硬質CLまたは軟質CLに区分され、ついで硬質CLは酸素透過性によってさらに分類され、軟質CLは、水分含有量（含水率）および素材がイオン性か非イオン性かによってさらに分類される。一方、CLの規格は、CLの内面曲率半径、CLの度数およびCLの直径などを基準に区分される。なお、前記CLの種類および規格に関する情報は「CL情報」と呼ばれる。

【0004】

CLの選択は、通常、CL使用者の眼球または屈折度数を診断および検査することによってえられた、たとえば角膜の曲率半径、角膜径、屈折度数、涙液量および角膜内皮細胞に関する情報（以下、「眼球診断情報」という）、使用目的、年齢、使用環境などに基づき行なわれる。

【0005】

CL使用者は、眼球を診察した医師に対して、診察料を支払うとともに、CL販売店でCLを受けとり、CL販売店にCLの代金およびCLのケア用品の代金を支払う。該ケア用品は、CLに付着した汚れを除去し、とくにレンズ材料に水を含む軟質CLではレンズ中に存在する菌を殺菌し、常にCLを清潔に保つことによって眼に害を与えないように、または常に良好な視力を維持するために必要とされる。なお、CLは、CL販売店があらかじめCL販売者から購入している。

【0006】

そして、CL購入後、ケア用品が消耗するたびに、CL使用者は前記CL販売店またはその他のケア用品取扱い店でケア用品を購入する。

【0007】

【発明が解決しようとする課題】

従来のＣＬの販売方法では、前述のようにＣＬ販売店があらかじめＣＬをＣＬ販売者から購入し、医師の選択したＣＬをＣＬ使用者に販売する。したがって、ＣＬ販売者が、販売後のＣＬの使用状況を把握することは不可能であり、ＣＬが交換時期を過ぎても継続して使用されるばあいがある。さらに、ＣＬ使用者は消耗品であるケア用品を随時購入する必要がある、ときには、購入したＣＬの材料の特性に合わない不適切なケア用品を誤って購入し使用するばあいがある。したがって、ＣＬを清潔に保つことができなくなり眼に害を与えたり、ＣＬが白濁し良好な視力を維持できなくなるという問題がある。

【0008】

本発明はかかる問題を解決するためになされたもので、販売後のＣＬの使用状況を把握することにより、ＣＬの安全性を常時維持することができるＣＬの販売システムを提供することを目的とする。

【0009】

【課題を解決するための手段】

本発明のＣＬの販売システムは、通信網と、該通信網を介して接続される複数の情報処理装置とからなり、

前記複数の情報処理装置が、それぞれ演算処理手段、記憶手段および送受信手段を有し、

前記複数の情報処理装置が、少なくとも第１の情報処理装置と第２の情報処理装置と第３の情報処理装置とからなり、

前記第１の情報処理装置の送受信手段が、第１の情報処理装置から第２の情報処理装置に、少なくとも登録番号、指定眼科、ＣＬ代金および代金支払い期限に関する情報を転送する手段であり、かつ、第１の情報処理装置から第３の情報処理装置に、少なくとも登録番号および氏名に関する情報を転送する手段であり、

前記第２の情報処理装置の送受信手段が、第２の情報処理装置から第１の情報処理装置に、少なくとも契約の申し込みに関する情報を転送する手段であり、

前記第３の情報処理装置の送受信手段が、第３の情報処理装置から第１の情報処

理装置に、少なくとも登録番号、氏名、販売日、CL情報および眼球診断情報を転送する手段である。

【0010】

また、前記情報処理装置が表示手段をさらに有するものである。

【0011】

さらに、前記表示手段がブラウン管および液晶表示装置のうちの1つである。

【0012】

また、前記情報処理装置が入力手段をさらに有するものである。

【0013】

さらに、前記入力手段がキーボードである。

【0014】

また、前記演算処理手段がCPUである。

【0015】

また、前記記憶手段が読みだし専用メモリおよびランダムアクセスメモリからなるものである。

【0016】

また、前記送受信手段が変復調装置である。

【0017】

本発明のコンタクトレンズの販売システムは、通信網と、該通信網を介して接続される複数の情報処理装置と、携帯可能な記録媒体とからなり、

前記複数の情報処理装置が、それぞれ前記携帯可能な記録媒体にデータを書き込む手段、前記携帯可能な記録媒体からデータを読み出す手段、演算処理手段、記憶手段および送受信手段を有し、

前記複数の情報処理装置が、用途別に少なくとも第1のグループおよび第2のグループに分けられ、

前記第1のグループがCL販売者にかかわる施設に設置された情報処理装置からなり、

前記第2のグループが指定眼科に設置された情報処理装置からなり、

前記第2のグループに含まれる情報処理装置が、第2のグループに含まれる情報

処理装置が設置された眼科でのＣＬ使用者の診察結果に基づきえられた、少なくともＣＬ使用者の氏名、診察日、眼球診断情報、ＣＬ情報およびＣＬの販売日に関するデータを記憶するとともに、第１のグループに含まれる情報処理装置に通信網を介して前記データを送信するものであり、

前記第１のグループに含まれる情報処理装置が、前記データを処理および管理し、データに基づき登録番号を決定し、前記携帯可能な記録媒体にデータおよび登録番号を記録し、前記診察日およびＣＬの販売日に基づきＣＬの交換時期を決定するとともに、前記ＣＬの交換時期に、少なくともＣＬの交換時期に関する情報がＣＬ使用者に供給されるようにするものである。

【００１８】

また、前記第２のグループに含まれる情報処理装置のみが、眼球診断情報を修正する手段を有するものである。

【００１９】

また、前記携帯可能な記録媒体が、特定のＣＬ使用者によって使用可能な記録媒体である。

【００２０】

また、前記携帯可能な記録媒体それぞれが１つのパスワードを有するものである。

【００２１】

また、前記複数の情報処理装置が、すべての携帯可能な記録媒体からデータを読みだすこと、および、すべての携帯可能な記録媒体にデータを書き込むことが可能な情報処理装置である。

【００２２】

また、前記情報処理装置が表示手段をさらに有するものである。

【００２３】

さらに、前記表示手段がブラウン管および液晶表示装置のうちの１つである。

【００２４】

また、前記情報処理装置が入力手段をさらに有するものである。

【0025】

さらに、前記入力手段がキーボードである。

【0026】

また、前記演算処理手段がCPUである。

【0027】

また、前記記憶手段が読みだし専用メモリおよびランダムアクセスメモリからなるものである。

【0028】

また、前記送受信手段が変復調装置である。

【0029】

【発明の実施の形態】

つぎに、本発明のCLの販売システムの実施の形態について説明する。

【0030】

実施の形態1

図面を参照しつつ、本発明のCLの販売システムの実施の形態1について説明する。

【0031】

図1は、本発明のCLの販売システムの実施の形態1を示す説明図である。図1において、1は通信網、2は第1の情報処理装置、3は第2の情報処理装置、4は第3の情報処理装置を示す。

【0032】

通信網1の一例としては従来からのコンピュータネットワークがある。また、各情報処理装置間を専用の通信回線を用いて接続してもよい。さらに、第1の情報処理装置2および第3の情報処理装置4間のみを専用の通信回線を用いて接続し、第1の情報処理装置2および第2の情報処理装置3間ならびに第2の情報処理装置3および第3の情報処理装置4間を従来からのコンピュータネットワークを介して接続してもよい。

【0033】

第1の情報処理装置2、第2の情報処理装置3および第3の情報処理装置4は

、それぞれ演算処理手段、記憶手段および送受信手段を有している。各情報処理装置は、表示手段および入力手段をさらに有するばあいもある。前記表示手段の一例としてはブラウン管または液晶表示装置があり、前記入力手段の一例としてはキーボードがある。前記演算処理手段の一例としてはCPUがある。さらに、前記記憶手段の一例としては、読みだし専用メモリおよびランダムアクセスメモリがある。また、前記送受信手段の一例としては変復調装置がある。

【0034】

前記第1の情報処理装置2はCL販売者にかかわる施設に設置された情報処理装置である。第2の情報処理装置3はCL使用者が所有しているまたは使用可能な情報処理装置である。さらに、第3の情報処理装置4は指定眼科に設置された情報処理装置である。なお、前記指定眼科とは、あらかじめ第1の情報処理装置2に登録されている眼科である。登録とともに、指定眼科にはCL販売者からCLが無償で供給される。

【0035】

また、図1には、第2の情報処理装置3および第3の情報処理装置4はそれぞれ1つのみ示されるが、実際は、複数の情報処理装置が第2の情報処理装置または第3の情報処理装置として通信網1に接続されている。さらに、図1には、第1の情報処理装置2は1つのみ示されるが、地域ごとに第1の情報処理装置が配置され、複数の第1の情報処理装置が1つの中央情報処理装置に接続されてもよい。このばあい、第1の情報処理装置を介して、第2の情報処理装置または第3の情報処理装置と中央情報処理装置とのあいだで情報を転送してもよい。

【0036】

前記第1の情報処理装置2の送受信手段は、矢印12、13で示される回線を介して、第1の情報処理装置2から第2の情報処理装置3に、少なくとも登録番号、指定眼科、CL代金および代金支払い期限に関する情報を転送する。さらに、前記第1の情報処理装置2の送受信手段は、矢印12、14で示される回線を介して、第1の情報処理装置2から第3の情報処理装置4に、登録番号および氏名に関する情報を転送する。

【0037】

また、前記第2の情報処理装置3の送受信手段は、矢印12、13で示される回線を介して、第2の情報処理装置3から第1の情報処理装置2に、契約の申し込みに関する情報を転送する。

【0038】

さらに、前記第3の情報処理装置4の送受信手段は、矢印12、14で示される回線を介して、第3の情報処理装置4から第1の情報処理装置2に、登録番号、氏名、販売日およびCL情報およびCL使用者の眼球診断情報を転送する。

【0039】

つぎに、本発明のCLの販売システムの実施の形態1を利用したCLの販売方法について説明する。

【0040】

まず、第2の情報処理装置3から第1の情報処理装置2に契約の申し込みに関する情報が転送される。前記契約の申し込みに関する情報には、CL使用者の氏名、住所、電話番号（FAX番号）、第2の情報処理装置3のアドレスおよびCLの代金の支払い方法が含まれる。

【0041】

第1の情報処理装置2の演算処理手段によって、登録番号が割り当てられ、第1の情報処理装置2の記憶手段に、前記契約の申し込みに関する情報および登録番号が記憶される。前記登録番号とは、販売システム内でCL使用者を識別するために付けられる番号である。

【0042】

ついで、第1の情報処理装置2から第2の情報処理装置3に、登録番号と、少なくともCL使用者の居住地域およびその周辺にある指定眼科に関する情報が転送される。さらに、希望があれば全指定眼科に関する情報が転送される。また、第1の情報処理装置2から第3の情報処理装置4に、契約の申し込みに関する情報および登録番号が転送される。前記指定眼科に関する情報は、少なくとも店舗番号、住所（必要であれば地図）、電話番号（FAX番号）、休業日に関する情報を含む。CL使用者が必要とするときはいつでも、第1の情報処理装置または

第3の情報処理装置から第2の情報処理装置に指定眼科に関する情報が転送される。なお、当該転送には、登録番号が必要である。

【0043】

CL使用者は、眼科で診察を受けて眼球診断情報をうる。さらに、眼球診断情報、使用目的、年齢および使用環境などに基づきCLの選択が行なわれる。選択されたCLのCL情報および眼球診断情報は第3の情報処理装置4に入力される。このとき、CL使用者が、登録番号を第3の情報処理装置4に提供してもよく、また、第3の情報処理装置4にCL使用者の氏名および住所などを入力して登録番号を確認してもよい。なお、眼科診断情報の修正（書込み）は、眼科医または眼科医に入力を委任された人に限り、第3の情報処理装置4を用いて行なうことができる。さらに、眼科診断情報の読みとりは、眼科医または眼科医に出力を委任された人と、CL販売者のうち眼科診断情報の管理を行なう人とのみに限り、第1の情報処理装置2または第3の情報処理装置4を用いて行なうことができる。

【0044】

CL使用者は、適切な種類および規格のCLおよび該CLに適切なケア用品を受けとるとともに、指定眼科に受診料を支払う。さらに、第3の情報処理装置4は、第1の情報処理装置2に、登録番号、氏名、販売日、CL情報および眼球診断情報を転送する。

【0045】

最後に、第1の情報処理装置2は、第2の情報処理装置3に、CL代金、ケア用品代金および代金支払い期限に関する情報を転送する。このとき、CL使用者が、代金を口座振り込みにより支払うばあい、代金支払い用の口座に関する情報も合わせて転送してもよい。また、一般のクレジット会社を介して代金を支払ってもよいが、このばあいは、一般に必要とされる所定の手続きが必要となる。

【0046】

また、第1の情報処理装置2が販売日にもとづきケア用品の消耗時期を決定し、該ケア用品の消耗時期に応じてケア用品が発送されてもよい。

【0047】

さらに、第1の情報処理装置2は、CLが交換時期を過ぎても継続して使用さ

れないように、販売日にもとづき交換期限を決定してもよい。前記交換期限が近くなると、第1の情報処理装置2から第2の情報処理装置3に、CLの交換時期が近いことを示す情報を転送してもよい。

【0048】

また、CL購入時および購入後にCL代金およびケア用品代金が支払われる代わりに、第2の情報処理装置3から第1の情報処理装置2に契約の申し込みに関する情報が転送されたときにCL使用者によって契約金が支払われるとともに、毎月、所定の額が支払われてもよい。また、前記所定の額が毎月支払われることにより、視力が変化したとき、CLを破損したときおよびCLにひどい汚れおよびキズが生じたときに、無償で新しいCLが提供されることが好ましい。さらに、CLの交換時期が近くなったときに、無償で新しいCLが提供されることが好ましい。

【0049】

実施の形態2

つぎに、本発明のCLの販売システムの実施の形態2について図面を参照しつつ説明する。

【0050】

図2は、本発明のCLの販売システムの実施の形態2を示す説明図である。図2において、1は通信網、22は第1のグループに含まれる情報処理装置（以下、「第1グループ情報処理装置」という）、23は携帯可能な記録媒体、24は第2のグループに含まれる情報処理装置（以下、「第2グループ情報処理装置」という）を示す。

【0051】

前記第1グループはCL販売者にかかわる施設に設置された情報処理装置からなる。図2には第1グループ情報処理装置が1つしか示されていないが、地域ごとに情報処理装置が配置され、複数の情報処理装置が1つの中央情報処理装置に接続され、前記複数の情報処理装置および中央情報処理装置によって第1グループを構成してもよい。このばあい、前記複数の情報処理装置を介して、第2グループ情報処理装置および中央情報処理装置間で情報を転送してもよい。また、前

記第2のグループは指定眼科に設置された情報処理装置からなり、図2には第2グループ情報処理装置が1つしか示されていないが、実際は、複数の情報処理装置が第2グループ情報処理装置として通信網1に接続されている。

【0052】

実施の形態2において、CLの販売システムは、通信網1と、第1グループ情報処理装置22と、第2グループ情報処理装置24と、記録媒体23とからなる。第1グループ情報処理装置22と第2グループ情報処理装置24とは通信網1を介して接続される。

【0053】

通信網1の一例としては従来からのコンピュータネットワークがある。また、第1グループ情報処理装置22および第2グループ情報処理装置24間を専用の通信回線を用いて接続してもよい。

【0054】

第1グループ情報処理装置22は、記録媒体23にデータを書き込む手段、記録媒体23からデータを読み出す手段を有する点以外は、実施の形態1に示される第1の情報処理装置と同一のものである。同様に、第2グループ情報処理装置24は、記録媒体23にデータを書き込む手段、記録媒体23からデータを読み出す手段を有する点以外は、実施の形態1に示される第3の情報処理装置と同一のものである。

【0055】

また、記録媒体23の例としては、ICカード、IDカード、磁気テープ、フロッピーディスクおよび紙がある。さらに、記録媒体23は、CL使用者の顔写真が添付された本人確認が可能なものでもよい。

【0056】

前記第2グループ情報処理装置24は、第2グループ情報処理装置24が設置された眼科でのCL使用者の診察結果に基づきえられた、少なくともCL使用者の氏名、診察日、眼球診断情報、CL情報およびCLの販売日に関するデータを記憶するとともに、第1グループ情報処理装置22に、矢印32、34で示される回線を介して、前記データを送信する。

【0057】

前記第1グループ情報処理装置22は、前記データを処理および管理し、データに基づき登録番号を決定し、前記記録媒体23にデータおよび登録番号を記録し、前記診察日およびCLの販売日に基づきCLの交換時期を決定するとともに、前記CLの交換時期に、CLの交換時期を知らせる情報がCL使用者に供給されるようにする。

【0058】

なお、複数のCL使用者に関する情報が1つの記録媒体に記憶されることを防ぐために、前記記録媒体23として、特定のCL使用者によってのみ使用可能な記録媒体が用いられる。したがって、複数のCL使用者が1つの記録媒体を使用することはできない。たとえば、記録媒体それぞれが1つのパスワードを有することにより、複数のCL使用者が1つの記録媒体を使用することを防止できる。前記パスワードは、CL使用者からの変更申請がCL販売者にあつたばあい限り、変更可能である。

【0059】

前記販売システムに含まれる情報処理装置は、すべての記録媒体からデータを読みだすこと、および、すべての記録媒体にデータを書き込むことが可能な情報処理装置である。したがって、毎回、異なる指定眼科で診察を受けることもできる。たとえば、通常は自宅近くの指定眼科で診察を受けているばあいでも、CLが破損したときなどに近くの指定眼科で速やかに新しいCLを受けとることができる。なお、眼科診断情報の修正（書込み）は、眼科医または眼科医に入力を委任された人に限り、第2グループ情報処理装置24を用いて行なうことができる。さらに、眼科診断情報の読みとりは、眼科医または眼科医に出力を委任された人と、CL販売者のうち眼科診断情報の管理を行なう人とに限り、第1グループ情報処理装置22または第2グループ情報処理装置24を用いて行なうことができる。

【0060】

つぎに、本発明のCLの販売システムの実施の形態2を利用したCLの販売方法について説明する。

【0061】

まず、CL使用者がCL販売者に契約の申し込みを行なう。前記契約の申し込みの際に、CL使用者の氏名、住所、電話番号（FAX番号）、CLの代金の支払い方法およびパスワードなどの情報がCL販売者に供給される。同時に、第1グループ情報処理装置22に契約の申し込みに関する情報が入力され、第1グループ情報処理装置22の演算処理手段によって、登録番号が割り当てられ、第1グループ情報処理装置22の記憶手段に、前記契約の申し込みに関する情報および登録番号が記憶され、記録媒体23に契約の申し込みに関する情報および登録番号が記憶される。前記指定眼科に関する情報は、少なくとも店舗番号、住所（必要であれば地図）、電話番号（FAX番号）、休業日に関する情報を含む。CL使用者が必要とするときはいつでも、第1の情報処理装置または第3の情報処理装置からCL使用者に指定眼科に関する情報が供給される。なお、当該転送には、登録番号および／またはパスワードが必要である。

【0062】

なお、契約の申し込みが第2グループ情報処理装置24によって行なわれてもよい。このばあい、矢印32、34で示される回線を介して第2グループ情報処理装置24から第1グループ情報処理装置22に契約の申し込みに関する情報が転送され、折り返し、第1グループ情報処理装置22から第2グループ情報処理装置24に登録番号が転送される。記録媒体23は、後日、CL使用者に供給される。

【0063】

ついで、CL販売者からCL使用者に、記録媒体23および少なくともCL使用者の居住地域およびその周辺にある指定眼科に関する情報が提供される。さらに、希望があれば全指定眼科に関する情報が提出される。また、第1グループ情報処理装置22から第2グループ情報処理装置24に、矢印32、34で示される回線を介して、契約の申し込みに関する情報および登録番号が転送される。

【0064】

CL使用者は、眼科で診察を受けて眼球診断情報をうる。さらに、眼球診断情報、使用目的、年齢および使用環境などに基づきCLの選択が行なわれる。選択

されたCLのCL情報および眼球診断情報が第2グループ情報処理装置24に入力され、同時に、記録媒体23に記憶される。

【0065】

CL使用者は、適切な種類および規格のCLおよび該CLに適切なケア用品を受けとるとともに、指定眼科に受診料を支払う。さらに、第2グループ情報処理装置24は、第1グループ情報処理装置22に、矢印32、34で示される回線を介して、登録番号、氏名、販売日、CL情報および眼球診断情報を転送する。

【0066】

最後に、第1グループ情報処理装置22は、CL使用者に、CL代金、ケア用品代金および代金支払い期限に関する情報を供給する。このとき、CL使用者が、代金を口座振り込みにより支払うばあい、代金支払い用の口座に関する情報も合わせて供給してもよい。また、一般のクレジット会社を介して代金を支払ってもよいが、このばあいは、一般に必要とされる所定の手続きが必要となる。

【0067】

図3は、図2のCLの販売システムに含まれる第1グループ情報処理装置の一例を示す説明図である。図3において、32aは入力手段であるキーボード、32bは表示手段であるCRT（ブラウン管）、32cは、演算処理手段、記憶手段および送受信手段を含んでいる端末機本体、32dは、携帯可能な記録媒体からデータを読みとる手段および携帯可能な記録媒体にデータを書き込む手段を含んでなる記憶媒体読みとり書き込み装置、33は記録媒体であるICカードを示す。なお、分かりやすくするために、ICカード33は図示されている他のものと比較して拡大して示されている。また、図2の第2グループ情報処理装置も図3に示される第1グループ情報処理装置と同様のものである。

【0068】

また、第1グループ情報処理装置22によって販売日にもとづきケア用品の消耗時期を決定し、該ケア用品の消耗時期に応じてケア用品が発送されてもよい。

【0069】

さらに、第1グループ情報処理装置22によって販売日にもとづき交換時期を決定してもよい。CLが交換期限を過ぎても継続して使用されないように、前記

交換時期が近くなると、ＣＬの交換時期が近いことを示す情報をＣＬ使用者に發送してもよい。

【００７０】

また、ＣＬ購入時および購入後にＣＬ代金およびケア用品代金が支払われる代わりに、契約の申し込みがあったときにＣＬ使用者によって契約金が支払われるとともに、毎月、所定の額が支払われてもよい。また、前記所定の額が毎月支払われることにより、視力が変化したとき、ＣＬを破損したときおよびＣＬにひどい汚れおよびキズが生じたときに、無償で新しいＣＬが提供されることが好ましい。さらに、ＣＬの交換時期が近くなったときに、無償で新しいＣＬが提供されることが好ましい。

【００７１】

前述の実施の形態１および２によれば、ＣＬ使用者にＣＬが供給されるごとに、供給されたＣＬの種類および規格に関する情報がＣＬ販売者に与えられる。したがって、各指定眼科のＣＬの在庫量がＣＬの種類および規格ごとに統計処理でき、必要とされる種類および規格のＣＬが過不足なく生産できる。

【００７２】

【発明の効果】

本発明によれば、販売後のＣＬの使用状況を把握することにより、ＣＬの安全性を維持することができる。

【図面の簡単な説明】

【図１】

本発明のＣＬの販売システムの実施の形態１を示す説明図である。

【図２】

本発明のＣＬの販売システムの実施の形態２を示す説明図である。

【図３】

図２のＣＬの販売システムに含まれる第１グループ情報処理装置の一例を示す説明図である。

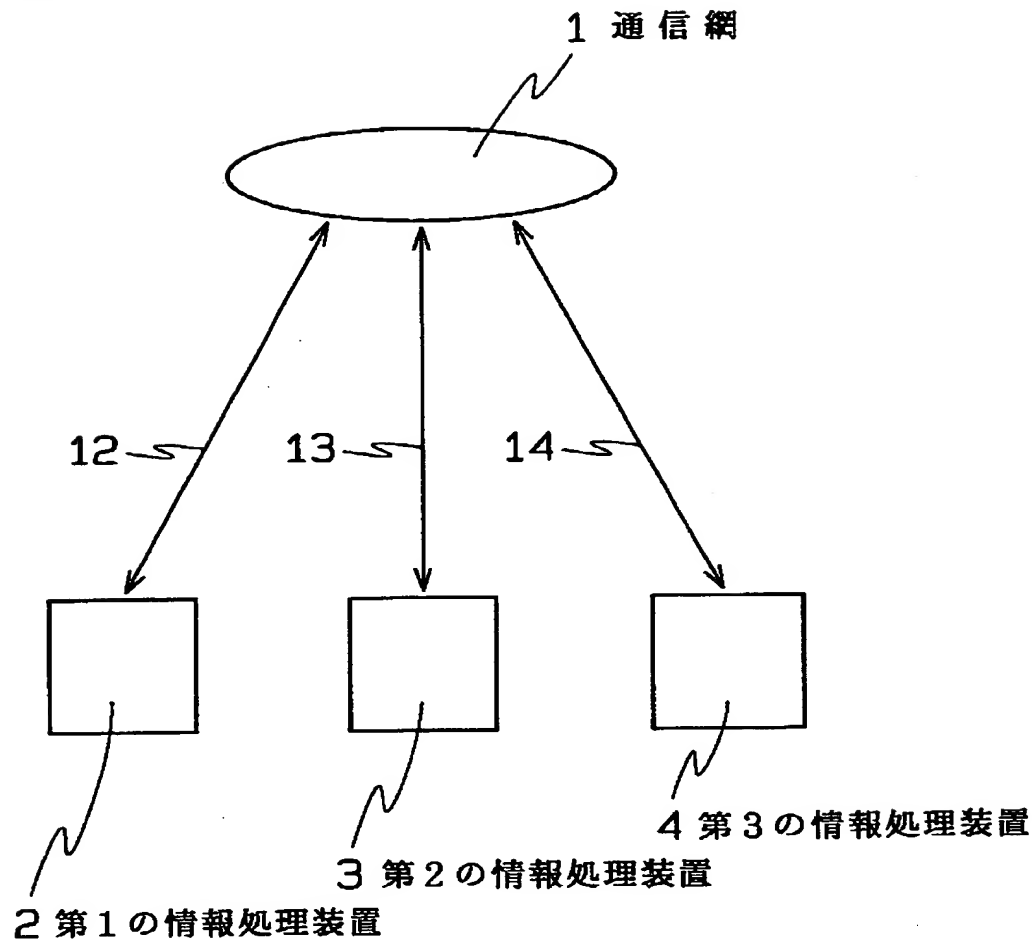
【符号の説明】

１ 通信網

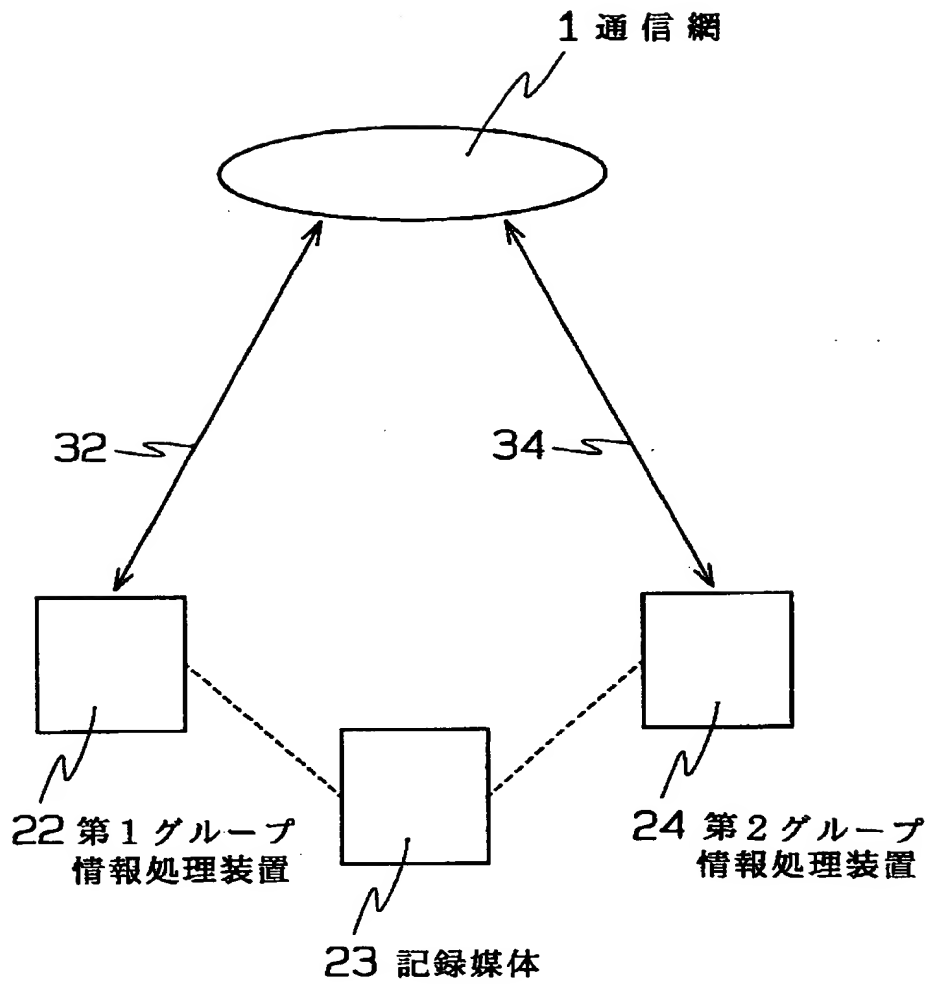
- 2 第1の情報処理装置
- 3 第2の情報処理装置
- 4 第3の情報処理装置
- 2 2 第1グループ情報処理装置
- 2 3 記録媒体
- 2 4 第2グループ情報処理装置

【書類名】 図面

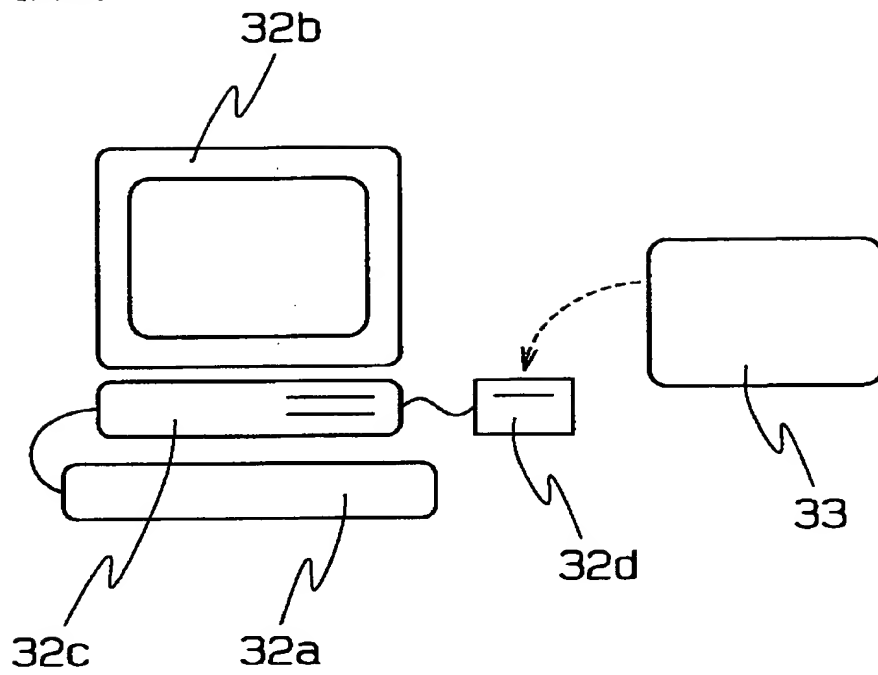
【図1】



【図2】



【図3】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 CLの安全性を常時維持することができるCLの販売システムを提供する。

【解決手段】 通信網と、該通信網を介して接続される複数の情報処理装置とからなり、複数の情報処理装置が第1～3の情報処理装置からなり、第1の情報処理装置の送受信手段が、登録番号、指定眼科、CL代金および代金支払い期限に関する情報を第2の情報処理装置に転送する手段であり、かつ、登録番号および氏名に関する情報を第3の情報処理装置に転送する手段であり、第2の情報処理装置の送受信手段が、契約の申し込みに関する情報を第1の情報処理装置に転送する手段であり、第3の情報処理装置の送受信手段が、登録番号、氏名、販売日、CL情報および眼球診断情報を第1の情報処理装置に転送する手段である。

【選択図】 図1

【書類名】 職権訂正データ
【訂正書類】 特許願

<認定情報・付加情報>

【特許出願人】

【識別番号】 000138082
【住所又は居所】 愛知県名古屋市中区葵3丁目21番19号
【氏名又は名称】 株式会社メニコン

【代理人】 申請人

【識別番号】 100065226
【住所又は居所】 大阪府大阪市中央区谷町2丁目2番22号 NSビル 朝日奈特許事務所
【氏名又は名称】 朝日奈 宗太

【代理人】

【識別番号】 100098257
【住所又は居所】 大阪府大阪市中央区谷町2-2-22 NSビル7階 朝日奈特許事務所
【氏名又は名称】 佐木 啓二

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000138082]

1. 変更年月日	1990年 8月20日
[変更理由]	新規登録
住 所	愛知県名古屋市中区葵3丁目21番19号
氏 名	株式会社メニコン